

中小企業あきた

- 1 藤澤正義氏を新会長に選出 2
～平成26年度通常総会を開催～
- 2 日銀と本県経済団体との懇談会が開催 5
- 3 国等への要望事項を審議 6
～第3回理事会を開催～

○景況レポート5月分 7

○話題の広場
アラカルト 8
支援団体活動レポート 10

7
JULY.2014



～ 塩田謙三会長を悼む ～



本会の塩田謙三会長が、平成26年6月2日、肺がんのため享年71歳にてご逝去されました。

6月17日(火)、横手市の秋田ふるさと村ドーム劇場において、塩田家・ヨコウグループによる合同葬儀が執り行われ、その突然の訃報に駆けつけた県内外からの多くの皆様が、塩田会長との別れを惜しみました。

塩田会長は、平成6年に理事、平成16年から副会長、平成22年6月からは会長として、逝去されるまでの4年間にわたり、病魔と戦いながら、まさに中央会の先頭に立ってご尽力頂きました。

その行動力は、会長就任当初からエネルギーで、「トライ・チャレンジ」の精神を中央会に注入し、失敗を恐れず前向きに行動することを常々訴えられました。自らがフットワーク軽く出かけ、その情報収集能力の高さ、先を見抜く先見性は他の追随を許さず、その豊かなご経験とスケールの大きさは、経営者としてのカリスマ性だけでなく、『人間・塩田謙三』としての魅力に溢れるものでした。また、塩田会長の「塩田節」と呼ばれる語り口は、分かりやすい言葉で心に響いてくるもので、その人格がしみ出てくる優しさがありました。

各業界を束ねる中央会会長として、国や県等の行政に対しての要望活動にも陣頭指揮を執り成果を上げましたが、すぐに成果につながらなくても粘り強い姿勢で活動を続けるそのお姿に感銘したものでした。

依然として、中小企業組合や中小企業・小規模企業を取り巻く環境は厳しく、とりわけ高齢化や人口減少の課題が重くのしかかる本県で、塩田会長の澁刺とした声で、我々をもっともっと叱咤激励し、導いて欲しかったのに本当に残念でなりません。

どうか天上から、本県産業界の躍動と中央会の将来をお守り下さい。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。